

川口 の 教 育



【 令和8年度 水上自然教室指導者講習会 】

第 6 8 4 号

【目 次】

校長・園長会長のあいさつ	市立校長会長（川口市立芝小学校長）	櫻井 秀子 (2)
	中学校長会長（川口市立青木中学校長）	齋藤 秀一 (2)
	川口市立高等学校長	吉野 浩一 (3)
	幼稚園長会長（川口市立舟戸幼稚園長）	須山恵美子 (3)
教育ルポ		 (4)
令和8年度 川口市立学校（園）研究テーマ一覧		 (5)

5 月号
—令和8年—

編集・発行 川 口 市 教 育 委 員 会

「今こそ原点に～教育は人なり～」



川口市立校長会長 櫻井 秀子
(川口市立芝小学校長)

学校現場が、ブラック企業だと叩かれて数年が経ち、コロナ禍も人間関係の希薄化に拍車をかけました。働き方改革として、DX化、学校

行事見直し、部活動地域移行が進んでいます。一方、不登校児童生徒への支援、日本語教室、教員・管理職のなり手の減少による課題、保護者対応、教職員事故…。五里霧中、教育はいったいどこへ向かっていくのでしょうか。

自身を振り返ると、部員と稽古をした後に、職員室に戻り、子供たちの話題で笑顔になり、一緒に行事や授業を真剣に創っていたことが懐かしく思い出されます。

学校現場は、課題山積であっても、子供たちの笑顔のために粉骨砕身、教職員と管理職でスクラムを組んで、立ち向かっています。

さて、生きてはたらく力を身につけることは、義務教育の使命です。学力はもちろんですが、何にでも一生懸命になれること、人と協力することの素晴らしさを味わうこと、あいさつができること、ごめんなさい・ありがとうが言えること、思いやりの気持ちもつこと。そんな人としての根っことなる部分を、学校で、仲間とともに学んでほしいと願っています。まさに、義務教育9年間は、人としての土台をつくる時期であるからです。

話は少し逸れますが、その義務教育にあって、特別支援教育は「特別ではない」時代になりました。特別支援教育は「教育の原点である」と言われます。それは、個に応じた丁寧な支援がなされることにあります。互いを尊重し認め、高め合う精神があるからです。

教育の世界で「不易流行」という言葉は、よく使われる言葉です。大切にしたいことは、いつの世も変わりありません。そして、新しいことに柔軟に対応できなければ、時代を乗り越えて生きてはいけません。

世界を見渡せば、国同士の争いごとは止まず、予測不可能な時代、私たちは、今一度、未来を担う子供たちを育てているという気概をもち、シンプルに教育の原点に立ち返って進んでいく必要があるように思います。「教育は人なり」岡村市長の掲げる「人づくりなくして、国づくりなし」まさにそこが、真の(心の)柱となります。小中幼高等学校(園)長会は、横の連携を一層密にして、子供たち・保護者・教職員の笑顔のために進んでまいります。

「新年度のスタートに際して」



川口市立中学校長会長 齋藤 秀一
(川口市立青木中学校長)

令和8年度がスタートしました。緊迫する中東情勢の影響で、世界経済が混乱する状況となっています。日本においてもその打撃は大きく、私たち生活にも少なからず影響が出始めています。学校は数年前にコロナ禍からようやく解放され通常の学校生活に戻ったばかりなのに、今後はこの中東情勢の影響で、学校においても様々な影響が出てくるかもしれません。令和8年度は不安な幕開けとなってしまいました。

さて、川口市では今年度川口市教育大綱及び川口市教育振興基本計画が新しく改定されたことに伴い新たな基本理念として「未来を創造する人材を育て、すべての人が輝く 川口の教育」が掲げられました。これは、「いつの時代においても変わらない本質的なものを守りながら、時代の変化に適応していくという不易流行の考えを踏襲しつつ、学校教育においては、これまで培った教育力と指導力の向上を図るとともに、知・徳・体の調和のとれた人間形成を引き続きめざします。」と示されています。この理念のもと学校教育の充実を図っていききたいと思います。

具体的には、学力向上においては毎日の授業で、子供たちが「知識及び技能」だけでなく「思考力、判断力、表現力」や「学びに向かう人間性」など、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるように教員が子供の変容を見取ることが大切になってきます。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っていく必要があります。

豊かな心の育成では道徳教育や体験活動を通して、思いやりの心や規範意識を育み、多様な人々と共に生きる力を培っていくことが求められます。地域とのつながりを大切にした教育活動を推進し、さまざまな経験から社会性を身に付けさせることが重要です。

さらに、健やかな体の育成においては、基本的な生活習慣の確立や運動習慣の定着を図り、生涯にわたって健康で活力ある生活を送る基盤づくりを進めていく必要があります。

これからの時代は、予測困難で複雑な課題に向き合う力が求められています。だからこそ、子供たち一人一人が自分の可能性を信じ、未来を創造していけるよう、学校・家庭・地域が一体となり、川口の子供たちを支えていききたいと思います。

「生徒が主語となる学校」を目指して

川口市立高等学校 校長 吉野浩一



科学技術の発展により人々の生活は便利で快適になる一方、社会はますます高度複雑化していきます。世の中全体の幸福度を高めることは、人類共通の思いです。国連が提唱した「SDGs」は、2030年までに持続

可能でよりよい世界を目指す 17 の国際目標を掲げ、貧困、環境、格差など課題解決の 169 のターゲットを示し、政府・企業・個人の行動指針となっています。

この「SDGs」の次世代目標として注目されているのが「Well-being」です。well(よい)と being(状態)からなる言葉で、個人や社会がよい状態にあることと訳されます。精神的な部分が多い Happiness(幸福)と比べると「Well-being」はもっと範囲が広く、身体的・心理的・社会的に満たされた状態を表し、持続している意味を含んでいるようです。

「SDGs」は、社会そのものの持続性に重点が置かれたものでしたが、「Well-being」では、より個人に重点が置かれ、一人ひとりの「Well-being」の意味合いが異なることになります。従って、個人の Well-being と社会全体の Well-being との折り合いをつけつつ、新たな枠組みの創造に挑戦することになると思います。

個人が「Well-being」になるために重要な視点として、私は、①あるがままの自分を受け入れること、つまり、今の自分を愛すること、②人とのつながりを大切にすること、例えば、感謝の言葉を使うことや他人をほめること、③生きがいややりがいを持つこと、具体的には、どんなことでもよいから自分が何かで主役になること、があると思います。

川口市立高校に着任し3年目、本校生徒のすばらしさを実感しています。仲間とともに一生懸命に取り組む姿勢、それは勉強や部活動、学校行事だけでなく、ボランティアやコンテスト、資格取得などさまざまな挑戦や活躍につながっています。また、落とし物を届けたお礼、挨拶や感謝、謝りを言える生徒に対するお褒めの言葉をいただくたび、校長として誇らしい気持ちになります。

今年度も、校長の「学校運営方針」と「生徒に期待する行動指針」を掲げ、すべての生徒が仲間とともに一生懸命を楽しめる学校づくりに努めたいと存じます。

引き続き、本校関係者をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

「幼児教育の一層の充実に向けて」

川口市立幼稚園長会長 須山 恵美子

(川口市立舟戸幼稚園長)

令和8年度がスタートしました。

昨年度に引き続き川口市立幼稚園長会長を務めさせていただきます。本年度は川口市立幼稚園である舟戸幼稚園、南平幼稚園2園の総園児数

は58名です。

幼児期は、家庭において親しい人間関係を軸に営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場や他者との関係、周囲のものに対する興味や関心が一層広がり、自立への一歩を踏み出します。幼稚園はいろいろな遊びを通して、家庭だけでは体験できない社会・文化・自然などに触れ、教師に支えられながら幼児期の世界の豊かさに出会う大切な場です。そのために、文部科学省の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び埼玉県教育委員会の「子育ての目安『3つのめばえ』」を起点として幼児の心身の発達に即した適切な指導に努めてまいります。

川口市立幼稚園では幼稚園教育研究協議会を組織し、保育実践事例をもとに研究協議を行うなど教員の資質向上に努めています。令和7年度は、「感じて 考えて 友達との関わりを楽しむ園児の育成」を研究主題とし、幼児が主体的に遊びに関わり、幼児同士の関わりを深めるための教師の援助の在り方について、実践的な研究に取り組みました。さらに、夏季研修会では、講師の方より「幼児期にふさわしい生活とは ～友達との関わり合いの視点から～」と題してご指導をいただきました。3年保育を進める上での大きな指針となりました。

3年間の保育を経て、小学校に進学する折には幼稚園教育と小学校教育の滑らかな接続が図れるように、小学校の教員との意見交換や合同の研究会、保育や授業を見合うことで「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、文部科学省が推進している「架け橋プログラム」の取組も一層充実するよう進めていきます。

本年度も2園の教職員一同が次世代を担うたくましさとしなやかさをそなえた川口の子どもたちの育成のために幼児教育の一層の充実に向けて邁進し、選ばれる魅力ある公立幼稚園を目指してまいります。川口市教育委員会をはじめとする関係者の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育ルポ①

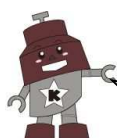
「令和8年度 大貫海浜学園指導者講習会」



令和8年度 川口市立小・中学校初任者研修の様子



令和8年度 川口市立小・中学校中堅教諭等資質向上研修の様子



川口市では、教職員一人ひとりの専門性と協働力を高め、児童生徒により良い教育を行うために、各種教職員研修を実施しております。

令和8年度 川口市立学校(園) 研究テーマ一覧

小学校

本 町	自分の考えを深め、豊かに表現できる児童の育成 ～考えたい！伝えたい！脱！正解だけを求める授業～
幸 町	自己を見つめ、他者との関わりの中でよりよく生きようとする児童の育成 ～「考え、議論する」道徳授業の実践を通して～
仲 町	「子ども・教師にとって必要感のある校内研究」 ～一人一人のウェルビーイングの向上を目指して～
上 青 木	主体的に対話する児童の育成 ～「わかった！」「できた！」を味わえる 算数科の授業実践～
元 郷	ねばり強く学ぶ児童の育成
飯 塚	児童の本気を引き出し、勢いを生み出す体育授業の研究
芝	『自ら学ぶ力』の育成 ～特別活動を基盤に、教科特性を生かした指導の充実を通じて～
新 郷	「自分事」として課題をとらえ、学びに向かう児童の育成 ～わかる・できる・やってみようを積み重ねる授業づくりを通して～
神 根	学び合い、互いに高め合う児童の育成
青 木 北	「自らチャレンジ！」「粘り強く取り組む！」児童の育成 ～思考力・判断力・表現力の向上を目指して～
領 家	自ら学びを発動させ、共に学びあう児童の育成
舟 戸	共に学び 夢をはぐくみ 未来を拓く 子どもの育成 ～深い読解力の育成をめざして～
十二月田	自ら考え、他者と共によりよく生きる しらすだっ子の育成 ～自己指導能力の育成を目指して～
飯 仲	主体的に学び、自分の考えを伝え合う児童の育成
並 木	児童がお互いに認め合い、高め合う指導法の工夫 ～健全な自己肯定感を育む教育を通して～
安 行	安行地区で取り組む持続可能な教育活動と指導体制の創造 ～対話的に学び合う子供の育成～ 学級力を基盤とした国語科・算数科の授業プランの研究をとおして
原 町	自ら学び、共に学び合う児童の育成 ～児童自身が自分を理解し、変容・成長できるとともに、児童理解を深めた学級・学年経営で支える学びの土台づくり～
前 川	わかる・できる・出番のある授業の共創 ～誰もが自信をもって取り組める指導法の追究～
戸 塚	主体的に学び、共に高め合う児童の育成 ～「やってみよう」「できた」と感じる学習活動の工夫～
青木中央	自ら考え、進んでかわらうとする児童の育成 ～非認知能力を働かせた算数科の学習を通して～
元 郷 南	「主体的に自信をもって学び合う子供の育成」 ～小学校教科担任制における学級経営(学習規律)の在り方～
芝 西	自分の思いや考えをもち、言葉で豊かに伝え合う芝西っ子の育成
芝 南	お互いを認め合い、高めあう児童の育成
神 根 東	課題を自分事として捉え、協働的に学び合うことができる児童の育成 ～学習意欲・読解力や思考力の向上～
朝 日 東	主体的に学習し、深く考える児童の育成 ～誰一人取り残さない授業づくりを目指して～
芝 富 士	ねばり強く考える子の育成 ～算数科の授業実践を通して～
前 川 東	「できそうだ」と考え、学習に取り組む児童の育成 ～見通しと振り返りの充実を通して～
柳 崎	「いきいき学び合う子の育成」 ～ワクワクする授業づくりと安心できる居場所づくり～
芝 樋 爪	主体的・対話的で深い学びの創造 ～教師が全員成長し、更なる授業力の向上を目指して～
新 郷 南	主体的・対話的で深い学び ～学び合いを大切に国語科授業の実践～
上 青 木 南	主体的に学びを広げる児童の育成
根 岸	「児童の学び合いを深める授業の探究」
芝 中 央	「進んで学び、思いや考えを伝え合う児童の育成」 ～ どの子にも「わかる」「できる」「楽しい」が感じられる授業の創造 ～
新 郷 東	「学んだことが「使える力」を身につけた児童の育成 ～ 非認知能力を土台とした学力の向上を目指して ～
朝 日 西	共に学び合い、生き生きと主体的に学習する児童の育成 ～楽しく基礎基本を身に付け、「できる！」「わかる！」を基に自分で考える算数を目指して～
慈 林	安行地区で取り組む持続可能な教育活動と指導体制の創造 「対話的に学び合う児童の育成」 ～「考え、議論する道徳」の授業実践を通して～
差 間	自ら学ぶ児童の育成 ～わかった・できた・つかえるを実感できる授業の創造～
東 本 郷	個別最適な学びと協働的な学びを通して 「分かった！」「できた！」が実感できる授業の創造 ～数と計算領域においてまずまずに焦点をあてて～
東 領 家	自ら進んで学ぶ児童の育成 ～児童一人ひとりが「わかった」「できるようになった」を味わえる学習効果を高める学び方～
安 行 東	安行地区で取り組む持続可能な教育活動と指導体制の創造 ～対話的な学びを通した児童の育成～
在 家	学び合い 認め合い 自ら高め続ける児童の育成 ～非認知能力を育む教育実践の探究～
戸 塚 東	「自ら学び続ける児童の育成」 ～「考える！伝え合う！そして、生かす！」算数科の授業の工夫～
戸 塚 北	主体的に学習に取り組む、考え・学び合う児童の育成
木 曾 呂	基礎的・基本的な内容の定着のための授業づくり、指導法の工夫

戸塚緑瀬	自分の考えを適切な言葉で表現できる児童の育成 ～国語の授業実践を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を育てる～
戸 塚 南	「運動の楽しさや喜びを味わい、ともに高め合う児童の育成」
鳩 ケ 谷	義務教育9か年の小中一貫教育 ～切れ目のない継続した教育活動と指導体制～
中 居	数学的な見方・考え方を働かせ、自ら学びを調整する児童の育成 ～自己効力感を高める「学習方略」の確立とICTの活用を通して～
辻	「伝え合う楽しさを味わえる授業づくり」 ～表現する力を育む国語科の授業～
里	粘り強く学び続ける児童の育成 ～試行錯誤できる学習過程の工夫を通して～
桜 町	義務教育9か年の小中一貫教育 ～切れ目のない継続した教育活動と指導体制～
南鳩ヶ谷	誰一人取り残されない子供たちのコミュニティづくり

中学校

東	確かな学力の育成 ～聞いて自ら実践する力の向上～
西	誰一人取り残さない、一人一人の生徒に寄り添う西中の教育 ～心の教育、個に応じた支援の充実を目指して～
南	学びをつなげ夢をはぐくみ未来を拓く教育の推進
北	学びの共同体の構想と実践 ～探究と共同の学びの創造～
青 木	生徒の学力向上と不登校支援の充実
芝	端末を有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業の創造
元 郷	学力向上に結び付く学習活動の工夫
上 青 木	真の生徒理解と授業力向上 ～生徒指導・教育相談の推進と学力向上の関係～
幸 並	個別最適で協働的な学びの充実を目指した生徒の育成
十二月田	生徒理解を基盤とした「一人一人を大切に」学校・学級づくり
仲 町	「さらなる多文化共生に向けて」 ～ 生徒一人一人の基礎・基本を高める授業実践 ～
安 行	9年間を見通した生きる力の育成 ～生徒の力を伸ばし、生きる力を育成する授業を目指して～
芝 東	全ての活動の基盤となる心理的安全性を育む手立ての研究・実践 ～安心感のある学級経営、保護者との良好な関係構築～
芝 西	「学びに向かう力」に焦点を当てた授業改善 ～生徒が夢中になって活動に取り組む学びとなる授業～
岸 川	生きた知識の習得 ～小中連携の強化・充実～
榛 松	主体的に学ぶ生徒を育てる授業設計の研究 ～エナジード教材を軸とした授業力の底上げ～
小 谷 場	個別支援が必要な生徒へのチーム小谷場としての実践
神 根	「心の健康」 ～ライフスキル等の活用を通して～
領 家	一人も取り残さず「学びに向かう力」を引き出す授業の研究
戸 塚	社会で生きて働く力の育成 ～非認知能力の向上を通じて～
在 家	主体的・協働的に学び続ける生徒の育成 ～個別最適な学びの実現を通して～
安 行 東	「自ら課題を発見し、主体的・対話的に学ぶことができる授業改善」
戸 塚 西	「自分で考え、正しく判断し、自分らしく表現することができる生徒の育成」 ～確かな学力、人生を豊かにする非認知能力の育成～
鳩 ケ 谷	義務教育9か年の小中一貫教育 ～切れ目のない継続した教育活動と指導体制～
八 幡 木	相手を思いやり、学ぶ姿勢を持つ生徒の育成 ～学び合い、高め合う活動を通した学力・徳力の向上～
里	「一人も取り残さず」学びに向かう力を引き出す授業の研究 ～「一人も取り残さず」のための効果的・効率的な手段の開発～
川口市立高校附属	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成 ～探究的な学習の充実とカリキュラムマネジメントの実現～
芝園学園	不登校生徒に対する支援の在り方 ～多様な学びの場を保障する包括的な支援体制～
芝園学園陽春分校	学びに向かう力に焦点を当てた授業改善 ～生徒が学びとなる授業の創造(日本語による指導の工夫・改善)～

高等学校

川口市立高 校	「主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」の研究～ICT・ALを活用した授業の開発～
川口市立高校(定 時 制)	「生徒の進路実現に向けたキャリア教育」の研究

幼稚園

舟 戸	「学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 教育の推進」
南 平	幼児の「やってみよう」を大切に保育を目指して ～友達と一緒に考えることを楽しむためには～